



思いをつなぎ「わ」で輝く 人権の灯^{あかり} ～気づき・考え・実行する～



青少年赤十字(JRC)の取組報告:「協力し合う関係の“和”」

守山市は、青少年赤十字(JRC)発祥の地です。子どもたちは、JRCの態度目標にある「気づき・考え・実行する」を合言葉に、様々な活動に取り組んでいます。子どもたちが身の回りにあるさまざまな課題に主体的に気づき、仲間と考え実行する様子を紹介します。

もりやま青年団による取組報告:「人と人のつながり・絆の“輪”」

とにかく守山が好きな守山市在住・在学・在勤の高校生から30代までの若者集団です。「いろいろな人に出会いたい。」「地域のために何かしたい。」という思いで、日々話し合いを重ねながら活動しています。守山のまちを盛り上げようと楽しみながら活動に取り組んでいるもりやま青年団の活動を紹介します。

福々亭ポン太 による人権落語:「対話・コミュニケーションの“話”」

人は、対話やコミュニケーションによって自分の気持ちや考えを相手に伝えるとき、相手の気持ちも分かり、お互いの理解を深めることができます。元小学校教員で素人落語家・近江落語会の福々亭ポン太(野村幹夫)さんが人権落語で、対話やコミュニケーションの大切さ・お互いを尊重する心について語ります。

Chorus Crayon による人権ライブ:「人と人のつながり・絆の“輪”」

真っ白な画用紙に思い思いの色のクレヨンで素敵な絵を描くように、一人ひとりの個性が重なると、美しいハーモニーが生まれます。響き合う歌声にのせて、人とのつながりや命の大切さを伝えます。当たり前の「今日」をさまざまな人や大切な人と過ごす幸せ「人とのつながり・絆の“輪”」が会場に広がるあたたかい時間をお届けします。

エンディング:「環境、循環型社会の“環”」

「協力の“和”」「つながり・絆の“輪”」「対話・コミュニケーションの“話”」そして、それらを繰り返し、つなぎ、広げる「循環の“環”」。この4つの“わ”を一人ひとりが大切にし、差別に「気づき・考え・実行する」ことが、差別を解消し、人権を尊重する社会の実現につながります。市内のさまざまな人権の取り組みをご覧ください。